

補助金評価シート(平成22年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1] 白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
95015	辰野町観光協会補助金	産業振興課	観光推進室	中村良治	守屋 英彦	
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先[内線]	2148	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0703	観光事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	4章	21世紀に伸びる産業		
		節 (コード選択)	1節	地域産業を活性化させる		
		項[基本施策] (コード選択)	413	地域資源を活かした観光の振興		
		主な取り組み (コード選択)	4131	ほたる祭りの開催		
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始) 48 年度 ~ (終了予定) 年度				
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)				
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)					

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等 公益法人 企業や団体 個人

(交付団体名 : 辰野町観光協会)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町の観光振興を図るための組織である協会の運営を活性化させ観光振興を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 誘客・宣伝・観光資源の掘り起こし等を行う。また各種イベント開催及び後援、観光に関する調査研究及び情報発信を行う。
- 荒神山公園さくら祭りの開催・フォトコンテストの開催・先進地視察研修・ほたる祭り・冬のほたるイベントとの共催などを行う。

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	第16回荒神山公園さくら祭りを開催						14,300
	説明	観覧客						14,000
②	指標名	フォトコンテスト開催						219
	説明	応募作品数						165

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度																		
事業費(円)		1,222,524			1,853,722			1,860,855			1,978,000																		
補助率(町負担分)		29.4%			56.5%			25.5%			30.0%																		
町交付額(円)		360,000			1,048,000			500,000			600,000																		
財源内訳	特定財源																												
	国庫支出金																												
	県支出金							235,000			182,000																		
	地方債																												
	その他	862,524			805,722			1,222,429			1,218,000																		
	一般財源	360,000			1,048,000			500,000			600,000																		
人件費の概算		(千円)																											
対前年比		%																											
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費			年間人件費			年間人件費			年間人件費			
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
町職員(正規職員)		0.01	0.01	0.01	0.04	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.29	0.50	0.50	0.35	0.34	0.59	0.59	2,334	2,271	3,985	2,271	3,985	3,774	2,334	2,271	3,985	3,774		
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	観光協会が観光事業の振興の一翼を担うよう期待されている。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	H22年度観光推進室が新設され、観光に力点を置く政策が採られた。協会との連携は不可欠である。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	町の観光振興のための補助金である。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	B	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	協会は大きく会員を増やせない中で観光振興のため、補助金はある程度必要である。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	観光客数、イベント参加者数、出品数等で把握
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	A	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	天候にもよるが荒神山公園さくら祭り、冬のほたるイルミネーション等は訪れる観光客は増加傾向である。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	団体補助金であるため会員には交付されていると解する。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	行革により一時は減額されたが、町の観光振興政策のため、H22年度は増額された。(150千円の増)
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		独自イベント(荒神山さくら祭り等)及び共催でほたる祭りを開催することにより、観光客増加につなげている。		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	23年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
観光振興のため、フォトセミナー、DCキャンペーンの一環として「ほろ酔いクラブ」への参加など新しいものにも取り組んだ。H23年度もフォトセミナー開催や新イベントを開催し、集客につなげていく。また協会の法人化問題(独自の収入源がネックとなるが)などの検討は必要はある。	[反映内容]	H23年度は100千円増額の600千円の補助金となる。	

(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
町の観光行政を行う上で必要な団体である。連携を行うなかで活動を推進。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ a 上記 a ~ c を選択